

# 北海道水産会

NO.265

August ◆ 2015



# 北海道水産会

## CONTENTS

NO.265

August

◆ 2015 ◆

|                                |    |
|--------------------------------|----|
| 定時総会を開催                        | 1  |
| 理事会を開催                         | 3  |
| 2015年 前期活動のあらまし                | 4  |
| 国の水産政策・予算に関する中央要請活動を実施！        | 4  |
| 2015年日口漁業交渉                    | 6  |
| 1. さけ・ます漁業交渉                   |    |
| 2. 貝殻島区域昆布操業交渉                 |    |
| ロシア200海里水域さけ・ます流し網禁止法について      | 7  |
| 在札水産業団体懇談会を開催！                 | 7  |
| 魚食普及・食育PR活動                    | 8  |
| 漁師になりたい若者と浜をつなぐ活動              | 10 |
| 漁業就業支援フェアの開催                   | 10 |
| ◇ 北海道漁業就業支援フェア in 旭川           |    |
| ◇ 北海道漁業就業支援フェア in さっぽろ（平成26年度） |    |
| ◇ 漁業就業支援フェア in 東京              |    |
| ◇ 北海道漁業就業支援フェア in さっぽろ（平成27年度） |    |
| 北海道漁業就業支援協議会総会の開催              | 11 |
| ◇ 平成26年度 第二回北海道漁業就業支援協議会通常総会   |    |
| ◇ 平成27年度 第一回北海道漁業就業支援協議会通常総会   |    |
| 北海道漁業就業促進連絡会議の開催               | 12 |
| <トピックス 1>                      | 3  |
| <トピックス 2>                      | 8  |
| 刊行物一覧                          | 13 |

表紙の写真

|                             |                          |                   |
|-----------------------------|--------------------------|-------------------|
| サオ前<br>コンブ干し作業<br>(釧路市千代の浦) | アサリはさみ漁<br>(釧路管内散布漁協)    |                   |
| 北の幸愛食フェア<br>(厚岸漁協)          | 春鮭鱒<br>「大試食会」<br>(新千歳空港) | ウニたも採り漁<br>(香深漁協) |
| 定置の時鮭<br>キャンペーン<br>(札幌中央市場) |                          |                   |

# 定時総会を開催

## 1. 定時総会概要

平成27年度定時総会を平成27年6月17日に開催致しました。来賓には、松浦宗信道議会水産林務委員長、山崎峰男道水産林務部長、早苗企画調整担当課長、杉西水産企画G主幹、西水産企画G主任を迎えました。総会は、川崎一好代表理事、会長の挨拶にはじまり、各議案の審議を行い、上程しており、承認されました。



総会会場

## 2. 総会挨拶主旨

国際経済は、世界的な超低金利や欧州のデフレ懸念、中国の景気減速等、先行き不安がみられる状況です。国内では、デフレ脱却へ向け、消費の回復がみられることや賃金面での波及が見られること、国の予算も過去最高規模となり「地方創生」で動き出し、加えて道の予算も「食と観光」に重点を置いているところであります。こうした、消費拡大へ向け、漁業者が自慢する水産加工品

「プライドフィッシュ」や、簡単便利に食べられる「フアストフィッ



川崎会長挨拶

## 3. 来賓挨拶

「シュ」があり、これらを当水産会としてもPRして行くこととしています。

一方、TPP交渉やさけ・ます流し網漁業交渉の行方も問題です。本道水産業界の変わらぬ使命は、魚の消費拡大や魚価の適正な維持安定のもと、水産物を供給していくこととあります。国の「浜の活力再生プラン」や、道の「第3期水産業・漁村振興推進計画」に基づき推進してまいります。

### (1) 道議会水産林務委員長 松浦宗信様



松浦水産林務委員長挨拶

本道水産業界を取り巻く環境は、問題が山積しておりますが、「和食」が無形文化遺産に登録されるなど、水産物の消費拡大に繋げるチャンスです。貴水産会は、北方四島周辺海域や貝殻島区域昆布交渉などを実施しており、道議会と致しましても、皆様方と十分連携・協力し、要請活動や予算の確保に努力致します。

### (2) 道庁水産林務部長 山崎峰男様



山崎水産林務部長挨拶

貴水産会は、本道のオール水産として日口交渉等を実施していることに敬意を表します。一方、さけ・ます流し網漁業等の問題もありますので、道と致しましても、水産会と連携し、水産業界・漁村の発展のために取り組んで参ります。



# 平成27年度 事業計画の実施事項

## 1

### 実施事業等会計

- (1) 水産政策の推進に関する事業
- ① 漁場の環境整備、栽培漁業の推進など生産振興対策の推進
- ② 水産資源の持続的利用促進対策の推進
- ③ 資源管理・漁業経営安定対策の推進
- ④ 水産物流通・加工・消費対策の推進
- ⑤ 漁港・漁場の整備など漁村環境の充実促進
- ⑥ 有害生物の漁業被害対策の推進
- ⑦ TPP・WTO・EPA等対策の推進
- ⑧ 原発関連対策の推進
- (2) 水産業安定対策の確立に関する事業
- ① 食育・魚食普及研修会・料理教室の開催
- ② 漁業就労者の高齢化と生産性の低下に対応した人材確保と育成
- ③ 漁業就業支援フェアの開催
- ④ 新規漁業就業研修生との面談
- (3) 国際漁業対策の推進に関する事業
- ① 政府間・民間漁業協定の締結促進
- ② 国際漁業情報の収集と会員への提供、業界の意見調整
- ③ 関係国大使館、領事館との連携の強化

## 2

### その他会計

- (1) 貝殻島区域昆布採取協定対策に関する事業
- ① 両国間の交渉円滑化促進
- ② 見学者の受入及び採取量の報告
- ③ 採取権料・機材供与事務
- (2) 北方海域出漁者経営安定支援事業
- ① 北方海域出漁者経営安定支援
- ② 北方海域出漁者経営安定協議会
- (3) 海外漁場入出域等通報管理事業
- ① 漁獲量の定例報告事務
- (4) 北方四島周辺海域操業対策事業
- ① 両国の政府間協定に基づく了解覚書の締結
- ② 協力金・機材供与事務
- (5) 旧漁業権者救済等対策に関する事業
- ① 国などに対する要請活動
- (6) 会員並びに他産業団体等との連絡協調に関する事業
- ① 在札幌会員団体役員定例懇談会の開催
- ② 水産関係懇談会の開催
- ③ 他産業団体との連絡協調
- ④ 会報の発行

## 3

### 法人会計

- (1) 法人会計
- ① 本会事業を管理するため、毎年経常的に要する費用及び総会・理事会等の開催に伴う経費の会計を実施

# 任期満了に伴う理事及び監事の選任について

今回の総会におきまして、左記のとおり理事及び監事の選任が行われました。

なお、総会終了後の理事会におきまして、役員が選定されました。

|         |           |
|---------|-----------|
| 代表理事会長  | 川崎 一好     |
| 代表理事副会長 | 高橋 英明     |
| 副会長理事   | 横内 武久     |
| 副会長理事   | 山田 邦雄     |
| 副会長理事   | 中陳 憲一(新任) |
| 常務理事    | 山中千恵美     |
| 理事      | 亀田 元教     |
| 理事      | 小倉 啓一(新任) |
| 理事      | 内村 武夫     |
| 理事      | 安田 順一     |
| 理事      | 松田 一志(新任) |
| 理事      | 津田 要      |
| 理事      | 林 茂則      |
| 理事      | 浜島 清剛     |
| 監事      | 高津 哲      |
| 監事      | 一條 雄治     |
| 副会長理事   | 田谷 克弘     |
| 理事      | 竹内 一義     |
| 理事      | 八木田和浩     |

今回の総会におきまして、左記の役員及び理事の方々が退任されました。



## 理事会を開催

平成26年度第3回理事会を、平成27年3月19日に開催致しました。議案の内容は、平成27年度事業計画（案）及び収支予算（案）の承認についてです。

川崎会長が開会挨拶で、昨年の本道の水揚げが2年連続して、2,900億円台となり、明るい傾向があるものの、地域間格差や魚種別格差等、問題は山積しており、役職員が一丸となり、取り組んで行くことが、浜のためになると述べました。

議案につきましては、上程のとおり承認され、6月開催予定の定時総会において、報告されました。

平成27年度第1回理事会を、平成27年4月13日に開催致しました。議案の内容は、平成26年度事業報告及び収支実績及び財産目録の承認等についてです。

川崎会長が開会挨拶で、我々水産業界としても、TPP問題、資源回復、地域間格差、外国人技能実習生受入問題など、一つ一つ解決をしていく使命がありますと述べ役職員の協力を強く訴えました。

議案につきましては、上程のとおり承認され、6月開催予定の定時総会へ上程されました。



26年度第3回理事会

## トピックス 1

### 「ロシアの日」 記念レセプションへの出席

平成27年6月10日に在札幌ロシア連邦総領事館において、「ロシアの日（12日）」を記念したレセプションが開催されました。

北海道の政財界や対ロ交流団体のほか、本会や羅臼漁協などの水産業界など総勢100人余りが出席しました。

ファブリーチニコフ・アンドレイ総領事は挨拶の中で、「日本とロシアの関係には難しい部分もあるが、交流は確実に進んでいる。北海道弁でいうところの「あずましい」関係が築かれることを願う」と話し、会場を沸かせました。参加者を代表して道議会の遠藤連議長は、「北海道とロシア極東との交流は多くの分野で進んでい

るが、一層の発展を期待している」と述べ、荒川副知事による乾杯の後、料理を囲んでの歓談に移りました。



ファブリーチニコフ  
総領事挨拶



荒川副知事による乾杯

# 2015年前期活動のあらまし

## 国の水産政策・予算に関する中央要請活動を実施！

本会は、国の新たな水産基本計画や道の水産業・漁村振興推進計画第3期計画に即した本道水産業・漁村の振興発展のため、平成28年度国の水産政策及び予算編成に対する系統団体や関係業界団体の意向を取りまとめ、道や道議会、会員団体とともに、7月21日と22日の両日に関係省庁や国会議員に対し要請を行いました。

特に、平成28年度は近年、資源の減少や漁業就業者の高齢化・担い手不足に直面するなか、今後の動向として、国によるTPP交渉への参加など貿易政策による水産業への影響等に加え、東日本大震災に関する原発風評被害など、漁業経営を取り巻く環境は一段と厳しくなってきたとあります。

このような情勢下にあっても私たち本道水産業界は、さらなる資源の造成や漁場保全に努めるとともに漁業者の経営の安定を図りつつ、我が国固有の魚食文化と豊かな海を次世代に継承していかなければならない使命を担っている。また、国が特に推し進める農林水産物等の輸出拡大戦略や人口減少対策などの地方創生に向けた政策として、本道水産業の特色あるほたて、こんぶ漁業など沿岸漁業の振興に向けた取組が重要となっており、こんぶ漁業など沿岸漁業の以下、次の項目について要請を行いました。

### 水産施策に関する要望

#### 1. 資源増大・管理対策について

○日本海をはじめとする資源増大に向けた栽培漁業の推進

- ・各海域の実情に即した効果的な種苗生産事業に対する支援対策

- ・栽培漁業に係る生産施設等への支援措置

○本道漁業の実態に即した資源管理体制の推進

- ・TAC制度をはじめとする資源管理制度に関して、各海域の実情に見合った管理方法の見直し
- ・資源回復に向けた地域別の操業体制を確立

#### 2. 漁業経営の体質強化対策について

○担い手の確保に向けた支援対策

- ・漁村地域を担う漁業者に対する新たな漁船・生産設備の導入支援事業を創設
- ・漁業後継者の定着に向けた青年就業準備給付金の条件緩和など支援措置の拡充

- ・外国人技能実習制度に関する漁船漁業職種の見直し

- ・地域の基幹産業である漁業・水産加工業の経営安定に向けた人材受入施策の拡充・強化

○「浜の活力再生プラン」の実践に向けた諸対策推進

- ・「浜の活力再生プラン」の推進に向けた関連事業の拡充

- ・「浜の機能再編広域プラン」取り組みに対する支援措置

○漁業収入安定対策・漁業コスト低減対策の推進

- ・漁業共済制度等の見直しなど、漁業収入安定対策の拡充強化

- ・漁業経営セーフティネット構築事業の制度拡充

- ・漁業コストの低減に向けた燃油高騰対策の継続とさらなる拡充

- ・資源水準が低位にある魚種の資源回復を目指す漁業者への新たな経営支援制度を創設

- ・漁業用燃油税制の免税・還付措置の恒久化

○金融対策の推進

- ・平成28年度以降の無保証人型漁業融資促進事業の継続実施
- 水産物貿易対策
  - ・無秩序な水産物輸入を促す貿易自由化交渉における本道漁業への影響を回避

#### ○国内外の加工・流通対策の推進

- ・国産水産物流通促進事業・需給変動調整事業等の活用に向けた制度拡充
- ・水産物の水揚げから加工および物流機能の拠点整備に向けた支援の強化・拡充

### 3. 豊かで安全な漁場環境づくり対策について

#### ○有害生物の漁業被害対策の拡充強化

- ・トド等海獣類による漁業被害に対する実行ある支援制度を創設、漁業被害補償のための新たな支援制度を創設
- ・有害生物等（トド、アザラシ、オットセイ等の海獣、クラゲ、ザラボヤ、ヒトデ）の被害防止対策の臨機対応と拡充強化
- ・有害生物漁業被害防止総合対策事業の拡充強化

#### ○漁場環境保全の推進

- ・森林、河川、海洋環境保全および流木等を含めた漂流漂着物対策の拡充強化
- ・年々悪質化する組織的密漁の防止に向けた支援措置の拡充
- ・甚大な自然災害からの早期復旧に向けた支援措置を拡充強化
- ・一定の条件下におけるウニ殻等の海中還元を可能とする資源回復に向けたリサイクル体制の手法を制度的に確立

#### ○多面的機能発揮対策事業の継続・拡充

- ・水産多面的機能発揮対策事業の継続および活動規模の拡大等
- ・漁村集落直接支払交付金制度を創設

#### ○原発災害関連対策

- ・福島原発事故の早期収束および全ての原発の安全強化対策

- ・国内外による風評被害の早期解消および韓国等輸入規制の早急な解除

- ・将来に向けて原発に依存しない体制を目指し、自然再生エネルギー等の利用の推進

#### 4. 栽培漁業の推進について

##### ○資源増大に向けた栽培漁業の推進を図ること

- ・各海域の実情に即した効果的な種苗生産事業に対する支援措置
- ・栽培漁業に係る生産施設等への支援措置
- ・国による栽培対象種の親魚の管理

#### 5. ロシア連邦との強力な漁業外交の継続と操業の安定確保について

#### 6. 北洋さけます漁業への支援について

- ロシア連邦の法律により操業が困難となったロシア水域のさけ・ます流し網漁業について、漁業者はもとより、地域の関連産業などに対して、特段の支援を行うこと

#### 7. 水難救難所の救助活動の体制整備について

### 国費予算に関する要望

1. 漁港・漁場、海岸並びに漁村の整備促進について
2. さけ・ます増殖事業の推進について
3. 新規漁業就業支援対策の推進について



水産庁長官へ要望



# 2015年日ロ漁業交渉

## 1. さけ・ます漁業交渉

日本200海里水域内におけるさけ・ます漁業の操業条件を決める「日ロ漁業合同委員会第31回会議」が3月16日からモスクワにおいて開催されておりましたが、次の条件内容で3月24日に妥結しました。今年は、漁獲量が増加したことに伴い、漁業協力費も増加しましたが、昨年とほぼ同様の操業条件で合意しました。

### ●漁獲量

漁獲量の上限は、シロザケが2014年と同じ500<sup>トン</sup>、カラフトマスが2014年より100・1<sup>トン</sup>多い1,550<sup>トン</sup>となりました。

### ●漁業協力費

合意した1キロ当たり協力費は、2014年と同額の146・4円で、協力費の総額は2億6,400万円から3億円の範囲で、漁獲実績に応じて決定することとなりました。

一方、ロシア連邦の200海里水域におけるさけ・ます交渉「日ロ政府間協議」は例年3、4月に政府間交渉を行って来ましたが、今年は5月14日からモスクワにおいて開催され、次の条件で6月11日に妥結しました。

今年は、漁獲割当量が大幅に減少し、前年比4,668<sup>トン</sup>減少の1,961・75<sup>トン</sup>、入漁料は14億円減少の6億円に、また、本年の操業期間は6月27日から7月27日となりました。

なお、中型船は漁獲量等の関係から操業しな

表2. ロシア200海里内の漁獲割当量並びに入漁料

| 魚種     | 2015年    | 2014年    | 摘 要                                                                                                                                                                                        |
|--------|----------|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ベニザケ   | 503.31   | 2,886.00 | *2015年の一隻当りの割当量（トン）<br>小型船（19t型）103.25（前年150.0）<br>小型船（29t型）103.25（前年164.0）<br>中型船 - （前年190.0）<br>**2015年の入漁料<br>約6億円（前年約20億円）<br>小型船 306.60円/kg（前年303.45円/kg）<br>中型船 - 円/kg（前年303.45円/kg） |
| シロサケ   | 1,309.48 | 3,485.40 |                                                                                                                                                                                            |
| カラフトマス | 102.79   | 138.00   |                                                                                                                                                                                            |
| ギンザケ   | 41.04    | 59.60    |                                                                                                                                                                                            |
| マスノスケ  | 5.13     | 61.00    |                                                                                                                                                                                            |
| 計      | 1,961.75 | 6,630.00 |                                                                                                                                                                                            |

単位：トン

表1. 日本200海里内の漁獲割当量並びに協力費

| 区分    | 2015年                                                    | 2014年                                                    |
|-------|----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 漁獲量   | ・ 漁獲量の上限<br>シロザケ 500.0t<br>カラフトマス 1,550.0t<br>計 2,050.0t | ・ 漁獲量の上限<br>シロザケ 500.0t<br>カラフトマス 1,449.9t<br>計 1,949.9t |
| 漁業協力費 | ・ 2億6,400万円～<br>3億円の範囲で漁獲実績に応じて決定                        | ・ 2億5,222万円～<br>2億8,540万円の範囲で漁獲実績に応じて決定                  |

いこととなりました。

本会は、前述の交渉に先立ち、関係団体の代表らと道水産林務部や道内選出国会議員を訪れて交渉への支援をお願いし、外務省と水産庁では、交渉の早期妥結と操業の安定確保のため、操業の諸条件の整備を要請しました。



道水産林務部長へ要請



外務省へ要請



水産庁長官へ要請

## 2. 貝殻島区域昆布操業交渉

2015年の根室沖合・貝殻島区域の昆布漁業の操業条件を決める交渉は、4月20日からモスクワで本会とロシア連邦漁業庁との間で行われました。日本側の代表は本会の高橋副会長、ロシア側はシマコフS.V.国際協力局長。

本年の交渉は、近年の流水等の影響による漁獲不振など漁業経営の悪化や着業者の減少もあって、採取量及び採取権料については、昨年を上回ることはないよう協議を行った結果、双方が歩み寄り、昨年と同様の内容である昆布3,600<sup>トン</sup>で4月21日に合意に至りました。

### 《操業条件》

- ① 操業隻数 238隻（前年256隻）
- ② 操業期間 6月1日から9月30日（前年同様）
- ③ 採取量 褐藻類4,032<sup>トン</sup>（前年同様）
- ④ 採取権料 87,840千円（前年同様）
- ⑤ 機材供与 3,500千円（前年同様）



高崎達之助先生献花



貝殻島昆布一斉出漁



貝殻島昆布水揚げ



出漁証明書伝達式

操業に先立ち、5月31日には函舞漁業協同組合大会議室に出漁者を始め多くの関係者が参集し、出漁証明書伝達式が行われました。本会の高橋副会長から証明書が伝達され、出漁者の代表が「操業の安全と秩序ある操業に努めたい」と宣誓が行われました。

本年の昆布操業は、事前の前浜昆布の生育調査の結果、流水被害も少なく天候にも恵まれ、生育も順調とのことから、一斉出漁日を6月1日に決定し、3年振りに6月1日の解禁日に晴天、風の中、納沙布岬沖合にコンブ漁船238隻が集結し、午前7時にサイレンと花火を合図により貝殻島周辺水域に一斉出漁をし、たくさんコンブを水揚げしました。



貝殻島昆布操業交渉



貝殻島昆布操業交渉



貝殻島昆布操業交渉署名状況



水産会高橋副会長挨拶



道水産林務部寺井技監挨拶



懇談会の状況

7月13日北海道水産林務部の寺井技監ほか関係課長、主幹を招いて、平成27年度第1回目

## 在札水産業団体懇談会を開催！



林農林水大臣への要望



佐藤農林水産大臣政務官への要望



農林水産省への要望



城内外務副大臣への要望

く要望をしました。

しかし、ロシア国会で議案が可決され、7月1日プーチン大統領が署名したことから、今後の対応について、7月2日道庁、関係団体と中央要請を行うとともに、自民党政調会北海道総合振興特別委員会（今津委員長）へ出席し、本漁業に対する支援について、強く要望をしました。

ロシア国会において2016年1月からロシア200海里水域内でのさけ・ます流し網漁業を禁止する法案が議論されていることから、この漁業の長期的安定的な操業を求める要望団として6月10～11日に林農林水産大臣、佐藤農林水産大臣政務官、城内外務副大臣及び道選出の国会議員等へ要請をしました。

## ロシア200海里水域さけ・ます流し網禁止法について









皮むきは難しい



イカ釣り漁船の見学



みんなで「楽しかった！」

今年度も北海道各地域の漁協女性部連絡協議会、漁協青年部連絡協議会及び漁業士会と共催で研修会や料理教室を行う予定です。各会の事務局宛には実施要領、開催計画書などを送付していますので、各地域の皆さんは事業実施についてご検討願います。今年度は7月4日に1回目の事業を実施したので、トッパッターの事業風景を写真で紹介いたします。

今年度は初めて、将来レストランなどで勤務する人が多い調理師専門学校で事業を行いました。旭川市工業団地に設置された旭川調理師専門学校で100名の学生を対象に出前授業を開催しました。講師は宗谷地区漁協青年部連絡協議会の青年漁業士で、授業の内容は調理師専門学校の1年生50名を対象にホタテガイ、シリコンブ、ウバガイ、ミズダコ及びサケの生態、漁業等の講義を行い、その後捌き方や料理などの実習を行いました。最後は、2年生が腕を振るった数々の料理の試食です。このイベントは、いろいろの意味で北海道の海産物の可能性を広げてくれたと考えます。



初めての経験



副会長の挨拶

今年度は初めて、将来レストランなどで勤務する人が多い調理師専門学校で事業を行いました。旭川市工業団地に設置された旭川調理師専門学校で100名の学生を対象に出前授業を開催しました。講師は宗谷地区漁協青年部連絡協議会の青年漁業士で、授業の内容は調理師専門学校の1年生50名を対象にホタテガイ、シリコンブ、ウバガイ、ミズダコ及びサケの生態、漁業等の講義を行い、その後捌き方や料理などの実習を行いました。最後は、2年生が腕を振るった数々の料理の試食です。このイベントは、いろいろの意味で北海道の海産物の可能性を広げてくれたと考えます。

## ファストフィッシュ

ファストフィッシュについては、その取り組みの経緯、概要、コンセプトあるいは選定商品について本誌262-264号で紹介しました。これまでに、全国で552企業の3,067商品がファストフィッシュとして認定（2015・3・6現在）されるま

でに拡大しました。北海道でも22企業、29の商品が認定されています（表2）。承諾を得た商品については本誌過去号にカラー写真で掲載しました。新たに北海道の加工食品会社の認定商品ができましたら、今後も本誌で紹介していきます。

表2. ファストフィッシュ商品販売企業名と商品名（道内） \*第12回（2015.3.6）現在

黄色塗りつぶし：会報誌掲載商品

| 案者番号 | 振興局 | 企業名          | 郵便番号     | 住所                | 電話番号          | メール                               | 担当者   | 商品番号 | 商品名                   |
|------|-----|--------------|----------|-------------------|---------------|-----------------------------------|-------|------|-----------------------|
| 1    | 上川  | くまだ物産        | 079-8441 | 旭川市流通団地1丁目        | 0166-47-1310  | kumada@kumada.co.jp               | 熊田 泰也 | 1    | まるまる北海道いか納豆           |
| 2    | 後志  | 一八興業水産㈱      | 045-0001 | 岩内町字大浜68-7        | 0135-62-1811  | ki-t@ippachi.co.jp                | 紀 哲郎  | 2    | にしんのおかけ               |
| 3    | 渡島  | ㈱北海道日本       | 040-0061 | 函館市海岸町23-7        | 0138-41-6105  | masamitsu_kikuchi@do-nissui.co.jp | 菊地賢光  | 3    | 食べる昆布                 |
| 4    | 根室  | ㈱兼由          | 088-1781 | 根室市落石西114番地       | 0153-27-2231  | takao@kaneyoshi.jp                | 演屋 高男 | 4    | おさかなボール（てりやき）         |
| 5    | 釧路  | ㈱釧路フィッシュ     | 084-0917 | 釧路市大楽毛11-64       | 0154-57-5946  | taura@kaneyoshi.jp                | 田浦 純  | 5    | さんまの照り煮               |
| 6    | 石狩  | ㈱丸加水産        | 001-0932 | 札幌市北区新川西2条1丁目4-1  | 011-766-1974  | takao@kaneyoshi.jp                | 演屋 高男 | 6    | フライパンがー一番 さんま最強漬け     |
| 7    | 渡島  | ㈱マルナマ食品      | 040-0022 | 函館市日乃出町12-10      | 0138-55-0070  | k-hirano@r6.dion.ne.jp            | 演屋 高男 | 7    | さんまの梅酢煮               |
| 8    | 空知  | 岡田水産北海道㈱     | 079-1101 | 赤平市共和町199-12      | 0125-33-818-1 | yoshida@maruka-suisan.co.jp       | 平野 勝幸 | 8    | 北の鰯 鯖焼                |
| 9    | 石狩  | 北海道漁業協同組合連合会 | 060-0003 | 札幌市中央区北3条西7丁目     | 011-281-8530  | takashi@marunama.co.jp            | 吉田 浩文 | 9    | 丸加亭 さば味噌煮             |
| 10   | 釧路  | 広洋水産㈱        | 088-0567 | 白糠町庶路甲区6-584      | 01547-5-2241  | nakayama@okadasuisan.com          | 高橋 宏行 | 10   | 函館いわめし                |
| 11   | 後志  | NSC㈱         | 061-3271 | 小樽市銭函5丁目57-20     | 0133-76-1381  | t-satou@gyoren.or.jp              | 中山 智博 | 11   | さば味噌煮                 |
| 12   | 渡島  | ㈱道水          | 041-1221 | 北斗市清水川142-24      | 0138-77-2200  | koy1001@ilac.hokkai.net           | 佐藤 亨  | 12   | 北海道 バクバクさんま           |
| 13   | 後志  | マルスイ冷蔵㈱      | 061-3271 | 小樽市銭函5丁目58番       | 0133-74-3181  | inoue@nscinc.jp                   | 大沼 義弘 | 13   | 北海道産 さんま蒲焼（販売中止）      |
| 14   | 石狩  | ㈱札幌中一        | 063-0837 | 札幌市西区発寒17条3丁目4-34 | 011-667-5330  | kimura-y@dohsui.co.jp             | 井上 勝之 | 14   | モーニングたらこ（明太マヨ）        |
| 15   | 宗谷  | 丸共水産㈱        | 097-0022 | 稚内市中央4丁目18-18     | 0162-23-4050  | h-ootomo@marusui-net.co.jp        | 木村 義晴 | 15   | 真いか美味焼                |
| 16   | 留萌  | ㈱加藤水産        | 077-0043 | 留萌市旭町3丁目10-18     | 0164-43-3333  | nakaichi@jasmine.ocn.ne.jp        | 橋本 稔  | 16   | 真ほっけスティック             |
| 17   | 後志  | ㈱小樽かねてん      | 047-0036 | 小樽市長橋5-2-6        | 0134-25-3500  | miyamoto@mbf-net.com              | 宮本 仁之 | 17   | 真ほっけスティックバジル風味        |
| 18   | 石狩  | ㈱小樽食品        | 002-8008 | 札幌市北区太平8条6丁目9-3   | 011-772-7275  | kobayashi@ymk.co.jp               | 小林 一太 | 18   | 真ほっけスティック昆布干し（写真送付なし） |
| 19   | 空知  | ㈱スリーピー       | 069-0238 | 空知郡南幌町元町1丁目1番1号   | 011-378-2273  | kanachotera@gray.plala.or.jp      | 渡辺美千代 | 19   | シーフードバリエアの 秘          |
| 20   | 宗谷  | ㈱石崎食品販売      | 097-0021 | 稚内市港5丁目2-24       | 0162-24-1635  | momoya7219@yahoo.co.jp            | 小川 幸治 | 20   | イカと帆立のペパロニ            |
| 21   | 十勝  | デリカファクトリー十勝㈱ | 080-2460 | 帯広市西20条2丁目24-10   | 0155-67-1510  | tanaka@three-b.co.jp              | 田中 至  | 21   | 即席一夜干ほっけ              |
| 22   | 石狩  | オルソン株式会社     | 061-1405 | 北海道恵庭市戸郷201-11    | 0123-32-7188  | ishizaki-k@olive.plala.or.jp      | 小林 幸治 | 22   | 魚の煮付け                 |
|      |     |              |          |                   |               | koba-shinkichi@bz3.hi-hone.jp     | 石崎幸治  | 23   | にしんそばの具               |
|      |     |              |          |                   |               | en2@orson.co.jp                   | 小林伸吉  | 24   | 水揚げのからか唐揚げ            |
|      |     |              |          |                   |               |                                   | 峯田哲也  | 25   | ヘルシーさんまバーグ            |
|      |     |              |          |                   |               |                                   |       | 26   | こだわりの一夜干し（焼ほっけ）       |
|      |     |              |          |                   |               |                                   |       | 27   | 北海道産鮭 いくら使用 はらこ飯セット   |
|      |     |              |          |                   |               |                                   |       | 28   | 銀鮭の塩焼                 |
|      |     |              |          |                   |               |                                   |       | 29   |                       |

# 漁師になりたい若者と浜をつなぐ活動

## 北海道漁業就業支援協議会

### 漁業就業支援フェアの開催

#### ◇北海道漁業就業支援フェア in 旭川

旭川市では6回目となる漁業就業支援フェアを平成27年2月1日（日）に大雪クリスタルホールで開催しました。当日は曇り空で正午の気温2・3℃、厳寒期の旭川としては比較的暖かく、フェアにとっては条件の良い天候でした。

フェアへの出展団体数は12で、旭川の過去5回平均12・6出展団体数とほぼ同じ数でした。一方、来場者数は10人で過去平均15・6人の6割強に止まりました。例年、旭川フェアには札幌在住の人が比較的多く来場するのですが、3週間後の2月28日に札幌市でフェア（H26年度2回目）を開催することから、一部の参加者が札幌フェアに流れたのではないかと予想されました。

漁業者は研修候補生として来場10人の中の7人を指名しましたが、マッチングの報告は1名でした。しかしながら、その1名も双方の都合により研修には至りませんでした。就職状況が好転し始めた最近では、来場者が漁業就業に対して慎重に取り組んでいる様子が見えます。



大雪クリスタルホール玄関(旭川)



来場者への説明(旭川)



漁業者と来場者との相談(旭川)

#### ◇北海道漁業就業支援フェア in さっぽろ（平成26年度）

平成26年度最後となる「漁業就業支援フェア」を2月最終日の28日（土）にホテルライフポート札幌で開催しました。札幌市での開催は、平成26年度としては2回目、また当協議会発足してからは6回目になりますが、出展団体数は過去最多の29団体でした。一方、来場者数も27名に達し（最近4年間の札幌フェア来場者数は平均18名）、平成22年の28名に次ぐ来場者となりました。今回は、初めて北海道新聞に広告（2月21日掲載）を出したこと、北海道新聞に記事が掲載（2月27日）されたことおよび平成26年10月1日にスマートフォン用ウェブサイトを開設したことによるホームページ来場者数が増えたこと等から来場者数増加に期待していたところでした。漁業就業に関する研究論文によると、「雇用情勢が好転すると漁業就業希望者が減少する傾向が見られる」とのことですが、今回の来場者数27名は、雇用情勢が好転している社会情勢を考慮すると、比較的多くの来場数を確保できたのではないかと思います。

漁業者は研修候補生として来場27名中の17名を指名しました。その後の話し合いで7名がマッチング、7月31日現在ではその内4名が研修生になっています。



ホテルライフポート札幌玄関(札幌)



主催者挨拶(札幌)



漁業就業に向けての相談(札幌)



## ◇漁業就業支援フェア in 東京

平成27年3月21日（土）、東京メトロ半蔵門駅直結ベルサール半蔵門で開催された「漁業就業支援フェア」（一般社団法人全国漁業就業確保育成センター主催）に出展し、北海道での漁業就業相談の窓口を設けました。東京でのこのフェアは急きょ開催が決定したものであり、開催日や場所の告知に要する時間が短かったにもかかわらず、会場前には受付開始時刻30分前には多くの人が集まり、関心の高さがうかがえました。

受け付け開始と同時に、多くの来場者が会場に入り、相談に必要な書類の記載場所は多くの人で混雑していました。

このフェアは、今年度全国漁業就業確保育成センターが全国4カ所で開催する8回目の最終フェアで、これまでで最高の382名の来場者がありました。当協議会のブースにも10名が訪れ、北海道の漁業実態、就業の方法等熱心な相談がありました。来場者の中には21歳の女性も含まれ、多様な人が漁師という職業に興味を持っていてことが分かりました。首都圏では、自然とともに働く一次産業への就業希望者が多いと実感しました。北海道以外から人材を求めるのであれば、東京等で開催するフェアに漁業者自らが参加する必要があるのではないでしょうか。



書類に記載する来場者（東京）



相談前のガイダンス（東京）



北海道のブース（東京）

## ◇北海道漁業就業支援フェア in さっぽろ（平成27年度）

札幌での漁業就業支援フェアは、協議会発足年度の平成21年度か

ら26年度に6回開催しており、平成27年度の5月で7回目になります。札幌市でのフェアには、函館市や旭川市に比べて多くの来場者があり、今回は事前の問い合わせが多かったこと、北海道新聞が5月に計5回にわたり、長期実地研修のことを記事にしたことから来場者増を期待していました。

開催日の5月23日は晴れ、さらに気温は20度超え、大通公園の食のイベントには多くの人が集まる穏やかな行楽日和でした。

フェアへの出展団体数は過去最高の29団体を下回るものの、過去2番目に多い21団体で、来場者数は16名でした。

漁業者から指名された人は12名で、来場者の就業意欲の高さと漁業者の旺盛な雇用意欲を実感しました。現在（7月31日）、4名がマッチングしており、さらに1～2名増える可能性があります。マッチングした人達は、8月以降随時長期研修生になる予定です。

## 北海道漁業就業支援協議会総会の開催

### ◇平成26年度 第二回北海道漁業就業支援協議会通常総会

平成27年3月13日（金）、札幌の第二水産ビル会議室で「平成26年度第2回北海道漁業就業支援協議会総会」を開催しました。委員7名とオブザーバー3名（事務局4名）により次のとおり報告と審議が行われました。なお、議事については事務局案どおり承認されました。



相談者へのPR（札幌）



## 記

### 1. 報告

(1) 平成26年度 北海道漁業就業支援協議会の事業実施状況

(1) 平成26年度 新規就業者総合支援事業（国費）実施状況

(2) 平成26年度 北海道漁業就業支援協議会事業（道費）実施状況

### 2. 議事

(1) 平成27年度 北海道漁業就業支援協議会の事業計画

(1) 平成27年度 新規漁業就業者総合支援事業（国費）実施計画

(2) 平成27年度 北海道漁業就業支援協議会事業（道費）実施計画

会事業（道費）実施計画

(2) 役員改選について

(3) その他



26年度第2回総会

### ◇平成27年度 第一回北海道漁業就業支援協議会通常総会（書面総会）

平成27年6月12日（金）に平成27年度第1回北海道漁業就業支援協議会総会を行いました。今回は書面総会とし、事前に配布した資料について各会員に審議をお願いしました。次の議事については事務局案どおり承認されました。

## 記

### 議事

#### 1. 平成26年度 北海道漁業就業支援協議会の事業実績

(1) 平成26年度 新規漁業就業者総合支援事業（国費）実績

(2) 平成26年度 北海道漁業就業支援協議会事業（道費）実績

#### 議事意見書の確認

7会員中7会員が事務局案を承認

## 北海道漁業就業促進連絡会議の開催

平成27年3月13日（金）、札幌の第二水産ビル会議室で「平成26年度 北海道漁業就業促進連絡会議」を開催しました。当協議会高橋副会長の進行により北海道漁業協同組合連合会代表理事常務他11名で漁業就業に関する情報交換を行いました。今年の情報交換の内容は次のとおりです。



連絡会議での情報交換

### 連絡会議の内容

#### 1. 漁業就業者の動向

(1) 北海道水産林務部による資料（平成25年度 新規漁業就業者に関する調査結果の概要）説明

(2) 北海道教育庁による資料（本道水産高校の現状）の配布

#### 2. 求人・求職に関する動向

(1) 北海道運輸局による資料（取扱実績一覧）の配布

(2) 全日本海員組合北海道地方部による資料（活動報告）の配布

(3) 北海道いか釣り漁業協会の資料（北海道のいか釣り漁船の現況・乗組員の雇用状況）の説明（事務局による）

#### 3. 漁業就業促進に係る諸施策について

(1) 北海道漁業就業支援協議会による資料（北海道漁業就業支援協議会の活動）の説明

資料説明後、参加者全員による質疑応答等が行われ、さらに有意義な情報が提供されるとともに、情報の共有化がなされました。

## 刊行物一覧

### 食べるってたいせつだね

- なみと光のおさかな健康日記 (2007年)  
 漁村体験絵日記  
 海のしごと魚の恵み (2008年)  
 今日はお魚のことや  
 食事のことを勉強します (2009年)



### 漁業就業ガイドブック part 1-3

- part 1 漁師という人生 (2008年)  
 part 2 漁師という人生 (2009年)  
 part 3 北海道で  
 漁師になりたかったら (2010年)



### 北海道で漁師になろう 1-4

- 北海道で漁師になろう (2011年)  
 私たちは新米漁師です (2012年)  
 研修生は地域が支えます (2013年)  
 私は漁師になれますか? (2014年)  
 私たちは家族で頑張る  
 できたての漁師です (2015年)



## 北海道水産会 No.265

- 発行日 平成27年8月21日  
 編集 一般社団法人 北海道水産会  
 発行 一般社団法人 北海道水産会  
 札幌市中央区北3条西7丁目1番地 (北海道水産ビル内)  
 発行人 川崎一好  
 電話 (011) 271-5051  
 F A X (011) 271-5053  
 U R L <http://h-suisankai.or.jp>  
 印刷 株式会社 水産北海道協会



北海道水産会  
ウェブサイトトップページ



北海道漁業就業支援協議会  
スマホ-ウェブサイトトップページ



一般社団法人 北海道水産会

〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目1番地

北海道水産ビル内

TEL: 011-271-5051 FAX: 011-271-5053

E-mail: fish10@h-suisankai.or.jp

URL: <http://h-suisankai.or.jp/>